

平成28年度 復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業 第2回東北大学論文研修

「論文では何を論じればよいのか ー論文の構成要素と問いの種類ー」

平成29年3月16日（木）、福島県の復興と未来に貢献し得る論文作成の実現を支援することを目的に、東北大学において第2回論文研修が実施されました。昨年7月の第1回研修に引き続き、同学高度教養教育・学生支援機構 高等教育開発部門の串本 剛准教授よりご指導いただき、本校 GL 部生徒24名が参加しました。



7月の研修でご指導いただいたことをもとに、生徒達はテーマ自体を見直したり、構成を考え直したりしながらそれぞれに論文作成を進めてきました。今回の講義では、論文の構成要素を再検討し、草稿ができていない生徒は内容の過不足を確認し修正すべき点を理解すること、草稿ができていない生徒は、論文作成のために着手すべき点を理解することを目標にご指導いただきました。



生徒によって論文作成の進み具合が違う点を考慮し、どの段階にいる生徒にも対応できるようグループワークや発表の形式を工夫していただいたことで、受講した生徒全員が主体的に参加することができました。緊張して研修に臨んだ生徒達でしたが、終了後には楽しくて時間が経つのがあつという間だったという感想が聞かれました。

2回にわたり串本准教授にご指導いただいた内容は、現在取り組んでいる論文作成はもちろん、今後の学習・研究活動に大いに生かしていけるものと期待されます。